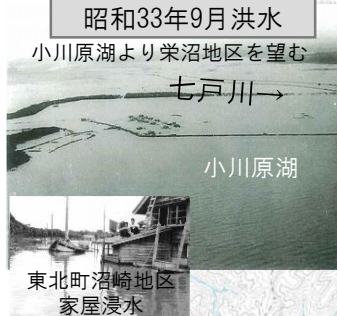
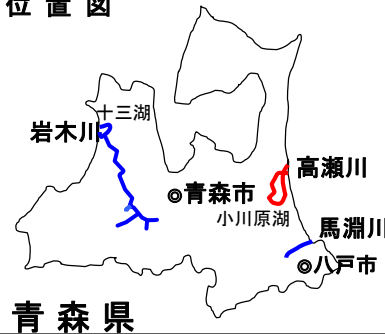


高瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～海面上昇等の気候変動に対応した治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、高瀬川水系においては、豊富な自然環境を有する流域の特性を考慮し、河川整備に併せて、観光資源や地域産業を支える安全・安心なまちづくりや内水被害軽減対策を組み合わせた流域治水の取り組みを実施することにより、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和33年9月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

- ・放水路整備、堤防整備、河道掘削、橋梁架替、頭首工、揚水機場の改修 等
- ・利水ダムにおける事前放流等の実施
- ・気候変動によるリスク検討

○集水域での対策

- ・砂防事業による土砂災害対策
- ・森林整備・治山対策
- ・水田貯留
- ・津波浸水リスク軽減対策の推進
- ・排水機場による浸水対策の強化
- ・下水道施設における浸水対策の推進 等

●被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画による水災害軽減対策の推進 等

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・タイムラインの運用・改善
- ・災害リスクの現地表示
- ・住民の防災教育や防災知識の普及推進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・広域避難体制と応急的な避難場所の構築
- ・広域避難体制と広域防災拠点としての体制整備
- ・防災力向上のための人材育成
- ・危機管理型水位計、簡易型河川用監視カメラの設置
- ・平時における気象解説等の充実
- ・水害リスク空白域の解消 等

●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

高瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

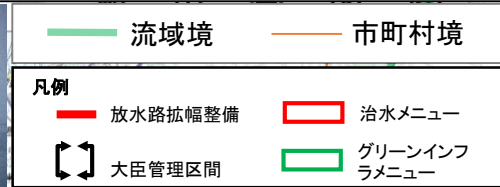
～海面上昇等の気候変動に対応した治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み

『多様な動植物の生息環境を「次世代へ継承」するため水環境保全対策を推進』

- 「たから湖」と称される水産資源に恵まれた小川原湖は、周辺に多様な動植物が生息しており、また、ラムサール条約に登録された仏沼が隣接するなど、動植物の生育にとって貴重な自然環境が形成されており、小川原湖一帯は「後世に残し・伝える」べき豊かな自然環境が豊富に存在している。
- 小川原湖において、覆砂・ウェットランド整備、浅場創出を行うことによる、湖沼の水質に係る環境の保全など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

位置図



■グリーンインフラメニュー

●健全なる水循環系の確保

- ・ウェットランド整備（流入負荷の低減）
- ・覆砂（アオコ・カビ臭原因物質の溶出防止）
- ・浅場創出（エコトーンの再生、湖岸保護 等）
- ・森林整備による水源涵養機能の維持増進

●治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生息環境の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取り組み

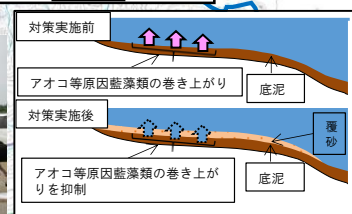
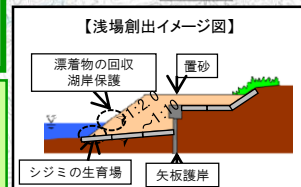
- ・小学校などにおける環境学習

●流域治水に資する水田、ため池等の保全

- ・生物の多様な生息環境の保全（水田貯留）

【全域に係わる取組】

- ・動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
- ・水質の保全
- ・良好な景観の保全
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

高瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～海面上昇等の気候変動に対応した治水対策の推進～

●高瀬川では、流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】河川周辺の浸水被害を防止するため、河道狭小区間を中心とした樹木伐採及び河道掘削を実施するとともに、下水道施設整備による浸水被害対策、タイムラインの運用改善や広域避難体制の整備などにより、住民の避難行動を促す体制の充実を図る。

【中 期】流下能力向上を目的とした河道狭小区間の河道掘削を進め、築堤整備により安全度の向上を図るとともに、災害リスクの現地表示や防災教育など避難体制の強化を図る。

【中長期】流域全体の浸水被害を防ぐため、放水路整備、橋梁架替などにより流域全体の安全度向上を図るとともに、安全・安心なまちづくり（立地適正化計画に基づく防災指針の検討等）などの流域対策を推進する。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■■■ : 対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区 分	対 策 内 容	実施主体	短期	工程 中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	放水路整備による治水対策	高瀬川河川事務所	基本方針・整備計画変更		
	七戸町、東北町等を守る堤防整備、河道掘削	青森県	堤防整備、河道掘削（七戸町、東北町）	七戸川・赤川・埴川・作田川	堤防整備、河道掘削（七戸町、東北町）
	砂防事業による土砂災害対策	青森県	土砂災害対策（東北町）		
	下水道施設における浸水対策の推進	七戸町	下水道機能の確保（七戸町）		
	森林整備・治山対策	東北森林管理局・青森県・森林整備センター			
	水田貯留（支援含む）	東北農政局、青森県、各市町村	水田貯留（市町村）実施に向けて検討する取組		
	津波浸水リスク軽減対策の推進	六ヶ所村	津波浸水対策の推進（六ヶ所村）		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画による水災害軽減対策の推進	七戸町	立地適正化計画策定と推進（七戸町）		
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	広域避難体制と広域防災拠点としての体制整備	六戸町	防災拠点と体制の整備（六戸町）		
	危機管理型水位計・簡易型河川監視用カメラの設置	高瀬川河川事務所・青森県	危機管理型水位計、簡易型河川監視用カメラによる監視体制強化		
	森林整備による水源涵養機能の維持増進	東北森林管理局・青森県・森林整備センター	森林整備による水源涵養機能の維持増進		
グリーンインフラの取り組み	ウエットランド整備	高瀬川河川事務所	ウエットランドの整備		
	覆砂	高瀬川河川事務所	覆砂による水環境対策		
	浅場創出	高瀬川河川事務所	浅場創出		
	生物の多様な生息環境の保全	高瀬川河川事務所・青森県	生物の多様な生息環境の保全		
	生物の多様な生息環境の保全（水田貯留）	東北農政局、青森県、各市町村	水田貯留（市町村）実施に向けて検討する取組		
	小学校などにおける環境学習	高瀬川河川事務所	小学校などにおける環境学習		

気候変動
等を踏まえ
た更なる対
策を推進

【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■河川対策
全体事業費 約110億円 ※1
対策内容 放水路整備、堤防整備、河道掘削、
橋梁架替、頭首工、揚水機場の改修 等

※1：道庁及び各関係の河川整備計画の残事業費を記載

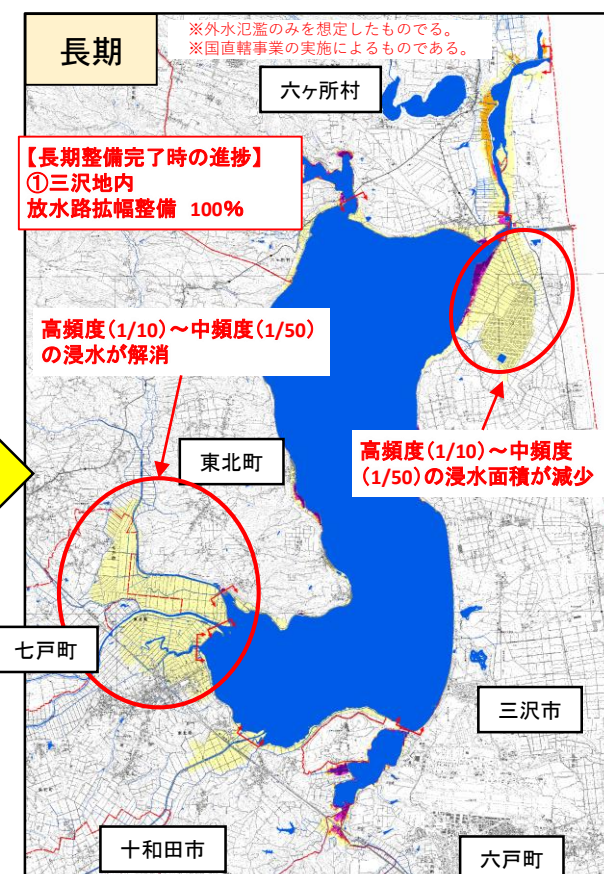
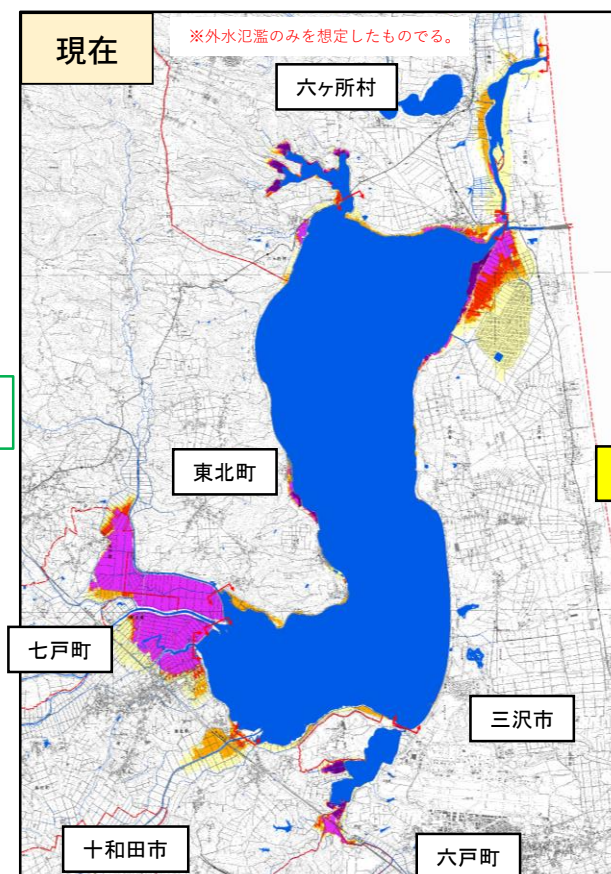
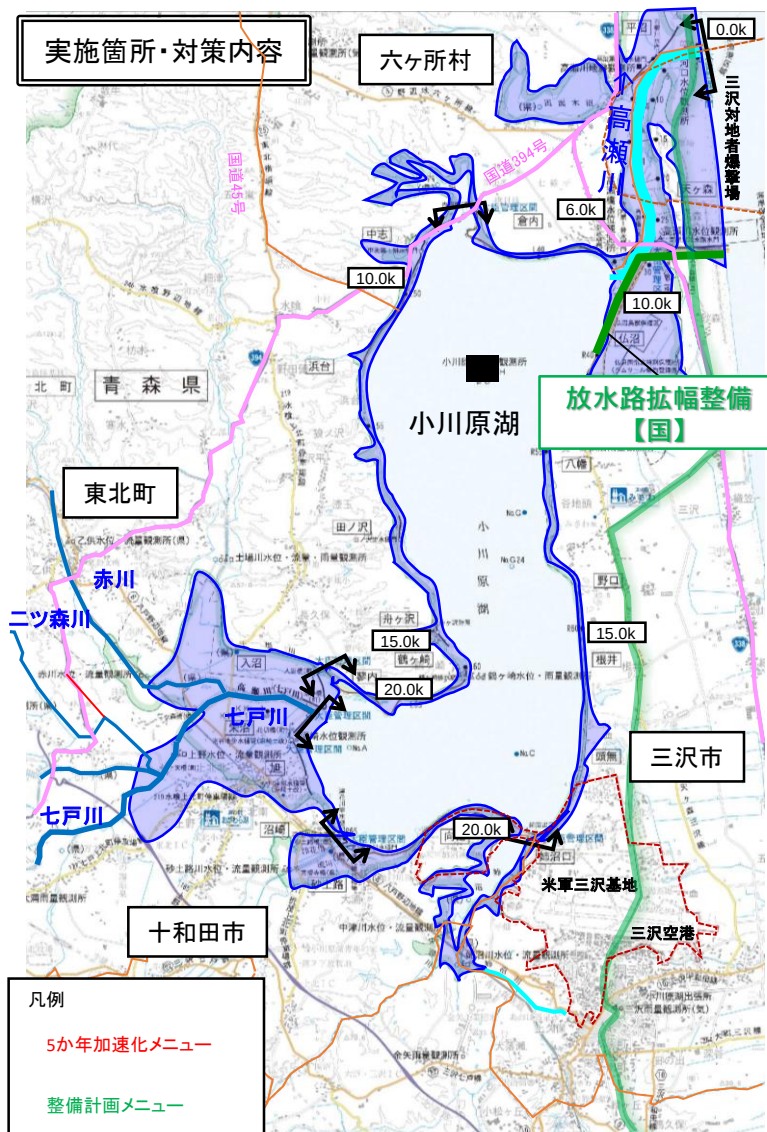
高瀬川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～海面上昇等の気候変動に対応した治水対策の推進～

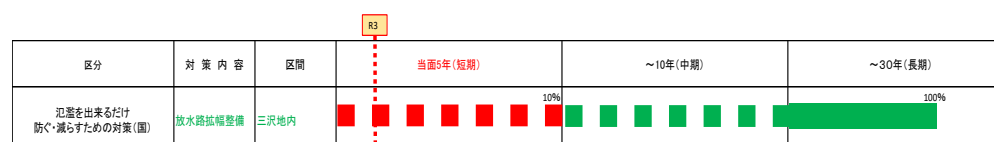
進捗と効果
(R4.3版)

長期整備効果:河川整備率100%

○危機管理型水位計及び簡易型河川用監視カメラの整備により、水位情報や河川状況を把握し、監視体制の強化が図られる。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
注：浸水範囲は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



高瀬川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～海面上昇等の気候変動に対応した治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：100%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



2市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 0箇所

（令和4年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 0施設

（令和4年度完成分）

※施行中 0施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



1市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 3河川

（令和4年9月末時点）

※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域 0国体

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 13施設

洪水 1施設

土砂

（令和4年9月末時点）

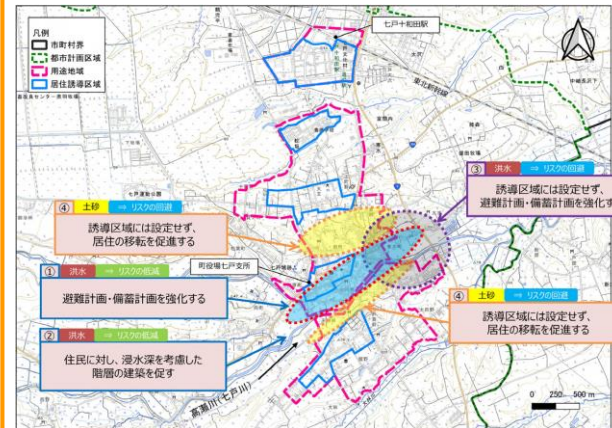
個別避難計画 1市町村

（令和4年1月1日時点）

氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策



被害対象を減少させるための対策



七戸町立地適正化計画において、ハザードエリアを検討した居住誘導区域の設定に伴い、**防災指針**にも位置づけるとともに、**高瀬川流域の防災**に関し課題を整理し取り組み方針を示します。

- ・令和3年4月1日七戸町立地適正化計画を策定・公表し、災害リスクの低減や回避のための取組方針を定めました。
- ・取組方針に基づき避難所運営マニュアルを作成し、運営訓練を実施。

（七戸町）

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

簡易型河川監視用カメラ

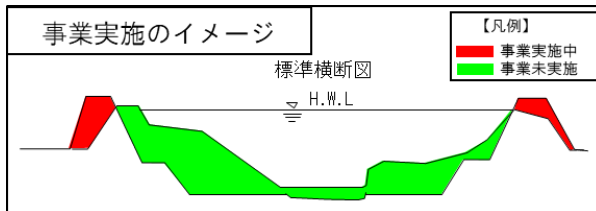


危機管理型水位計及び簡易型河川用監視カメラにより水位情報や河川状況を把握し河川監視体制の強化を図ります。

また、洪水時の河川の状況や危険性が住民に十分伝わらず、住民自ら河川に行き状況を確認するなど危険な行動をとるケースもあるため、危機管理型水位計による水位情報と簡易型河川用監視カメラによる河川情報を発信し住民に提供することで安全な行動を促します。

（三沢市・七戸町・東北町）5

事業実施のイメージ



七戸川等において広域河川改修事業及び大規模特定河川事業により、**築堤、河道掘削、橋梁架替、頭首工、揚水機場の改修等**を実施。
（七戸町・東北町）